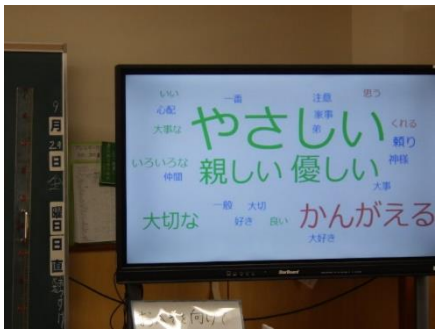
校長のつぶやき　第９２号「考え議論する道徳」

2023 年 9 月２９日（金）

今日の２校時、４年３組の道徳科の研究授業を参観しました。内容項目は【家族愛、家庭生活の充実】で、教材は教科書に掲載してある「お母さんの請求書」でした。

先週の２組の研究授業同様、子供たちのアンケート結果をテキストマイニングを用いて示したり、「心のものさし」をクロームブックの共有機能を使って、子供たちがリアルタイムに確認できたりと ICT の活用もスムーズでした。しかし、それ以上に素晴らしかったのは、子供たちが様々な視点から考え、それをみんなに語っていたことです。

自分のお手伝いについて、お母さんに請求書を書いたことについても、自分なりの理由を基に様々な視点から賛成意見や反対意見を考え議論することができていました。また、お母さんから渡された「０円の請求書」を見て、たかしさんが涙を流したことについても、様々な角度から考え、それぞれに考えを開き合ったり、意見を交わしたりすることができました。

道徳科においては、多様な価値観との出会いを通して自分の価値観を自覚することが非常に重要な学びとなります。子供たちが自然に語り合いながら様々な価値観と出会い、考えを深めていく、まさに「考え議論する道徳」が展開されていることを大変嬉しく思いました。